

# 赤穂高等学校で「赤穂の環境の歴史」についての授業を実施！！

○令和5年5月23日（火）に兵庫県立赤穂高等学校の「科学探求Ⅰ」の授業において、環境課の職員が「赤穂の環境の歴史」についての授業を行いました。  
授業の様子や感想をご紹介します！



## 【授業風景】



## 【授業内容（抜粋）】

- 「昭和40年代の赤穂市」と「現在の赤穂市」の空中写真を比較し、塩田跡地に工場ができ工場が増加していること、「公害の歴史」について説明しました。
- 二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）、二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）、微小粒子状物質（PM2.5）の状況や赤穂市の温室効果ガス排出量は、「産業・エネルギー転換・工業プロセス部門」の占める割合が高い特徴があること等を説明しました。
- 千種川の水質状況として「坂越大橋地点のBOD（生物化学的酸素要求量）経年変化」や海域調査の説明の中で、「地先海域のCOD（化学的酸素要求量）経年変化」を紹介しました。
- 「瀬戸内海の水質の変化について」や「海洋プラスチックごみ」等について説明しました。



## 【生徒の感想】

- 「今回の『赤穂の環境の歴史』の授業の中で、赤穂市の海と川、大気の状況について詳しく学ぶことができ、赤穂市の自然をより大切にしていきたいという気持ちになった。」

今後も地球温暖化が深刻化する中、社会全体として脱炭素・循環型・自然共生社会への移行が求められています。赤穂市の自然を守っていくためにも、一人一人が環境保全の意識を持ち、環境保全のために何ができるのかを考え、行動に移していくことが大切です。

市民の皆さんに市の事業等をご紹介します「早かごセミナー」で、赤穂の環境に関する出張講座も行ってまいります。ぜひ！ご利用ください！

赤穂市 市民部 環境課